

海洋生命資源科学専攻 令和7年3月修了 修士学位論文発表会プログラム

「主催：東京海洋大学大学院 海洋生命資源科学専攻」

開催日時：令和7年2月14日（金）9:00-17:50、2月17日（月）9:00-18:10

開催場所：品川キャンパス 2号館2階200-A 室

令和7年2月14日（金）9:00-17:50

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員	
1	9:00-9:20	2351032 ヒロセ ユ 廣瀬 雄 HIROSE YU	異なる栄養状態がニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> の代謝および免疫に及ぼす影響	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 小祝 敬一郎
2	9:20-9:40	2351051 ヨシザワ ソウチロウ 吉澤 聡一朗 YOSHIZAWA SOICHIRO	軟骨魚類由来一本鎖抗体の配列多様性解析	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 小祝 敬一郎
3	9:40-10:00	2351052 ヨシムラ カズマ 吉村 和真 YOSHIMURA KAZUMA	マダイイリドウイルスと宿主との相互関係に関わる機構の解明	海洋生物工学	主査	◎ 近藤 秀裕
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 小祝 敬一郎
4	10:00-10:20	2351011 コジマ シュウエイ 小島 宗瑛 KOJIMA SHUEI	液滴接触法を用いたクルマエビ類急性肝臓壊死症原因毒素のポア形成能の電気生理学的計測	海洋生物工学	主査	◎ 小祝 敬一郎
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 近藤 秀裕
5	10:20-10:40	2351030 ハラダ マサチカ 原田 真知 HARADA MASACHIKA	1細胞由来mRNA情報に基づいたクルマエビ科に共通な血球細胞分類マーカーの開発	海洋生物工学	主査	◎ 小祝 敬一郎
					副査	○ 廣野 育生 ☆ 近藤 秀裕
休憩 10:40~10:50						
6	10:50-11:10	2351004 イワオ タクト 岩男 巧人 IWAO TAKUTO	異なる菌株を用いたアユ細菌性冷水病耐性責任遺伝子の分子遺伝学的解析	水圏生物科学	主査	◎ 坂本 崇
					副査	○ 遠藤 雅人 ☆ 川戸 智
7	11:10-11:30	2351007 オガワ ヨウヘイ 小川 耀平 OGAWA YOHEI	ニホンウナギ性決定遺伝子同定に向けた分子遺伝学的研究	水圏生物科学	主査	◎ 坂本 崇
					副査	○ 遠藤 雅人 ☆ 川戸 智
8	11:30-11:50	2351035 ホコザキ ショウタ 鋒崎 将汰 HOKOZAKI SHOTA	民間種苗生産場における育種計画構築に向けたマダイおよびブリ親魚集団の分子遺伝学的解析	水圏生物科学	主査	◎ 坂本 崇
					副査	○ 遠藤 雅人 ☆ 川戸 智
9	11:50-12:10	2351023 ツムラ リョウタロウ 津村 遼太郎 TSUMURA RYOTARO	以西底びき網漁業におけるコッドエンド選択性と水揚げ選別に関する研究	生物資源学	主査	◎ 塩出 大輔
					副査	○ 秋山 清二 ☆ 董 書闢
昼休み 12:10~13:00						
10	13:00-13:20	2351017 シオタ シュン 塩田 惇 SHIOTA SHUN	アルゼンチンチャスコムス湖産ペヘレイ <i>Odontesthes bonariensis</i> における遺伝型/表現型性と性転換のモニタリング調査	生物資源学	主査	◎ ストルスマン カルロス
					副査	○ 山本 洋嗣 ○ 横田 賢史 ☆ 團 重樹
11	13:20-13:40	2351049 ヤマモト チナツ 山本 千夏 YAMAMOTO CHINATSU	ペヘレイ仔魚における温度選好の季節性と性比への影響	生物資源学	主査	◎ ストルスマン カルロス
					副査	○ 山本 洋嗣 ○ 横田 賢史 ☆ 團 重樹

12	13:40-14:00	2351001 アカカケイジ 赤岡 慶次 AKAOKA KEIJI	ペヘレイ温度依存型性決定における性分化関連遺伝子発現およびステロイドホルモン分泌の経時的変化と遺伝型間比較	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 横田 賢史
13	14:00-14:20	2351038 マエダ トシキ 前田 敏輝 MAEDA TOSHIKI	光環境がペヘレイ <i>Odontesthes bonariensis</i> の性決定に与える影響	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 横田 賢史
14	14:20-14:40	2351008 カト ユスケ 加藤 裕介 KATO YUSUKE	東京湾ギンイソイワシ野生集団におけるYY（超雄）個体の存在	生物資源学	主査	◎ 山本 洋嗣
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 横田 賢史
15	14:40-15:00	2351044 ムト リツキ 武藤 律樹 MUTO RITSUKI	環境DNAを用いた河川における淡水エビ類の分布解明	生物資源学	主査	◎ 横田 賢史
					副査	○ ストルスマン カルロス ☆ 山本 洋嗣
休憩 15:00~15:10						
16	15:10-15:30	2351005 ウエダ ユキ 植田 優輝 UEDA YUKI	ベッコウイモ幼生の飼育と変態誘起に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ ストルスマン カルロス
17	15:30-15:50	2351006 オガマ フコ 大釜 楓子 OGAMA FUKO	イモガイ類の温度適応に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ○ ストルスマン カルロス ☆
18	15:50-16:10	2351003 イト ユタ 伊藤 佑太 ITO YUTA	スベスベサンゴヤドカリ幼生の飼育とヤドカリ科・オカヤドカリ科稚ガニの相対成長比較に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ☆ 横田 賢史 ☆
19	16:10-16:30	2351043 ミヨ ユキ 御代 侑希 MIYO YUKI	カノコオウギガニの卵と幼生の温度適応に関する研究	生物資源学	主査	◎ 濱崎 活幸
					副査	○ 團 重樹 ○ 横田 賢史 ☆
20	16:30-16:50	2351020 ソマ ミサト 相馬 美聡 SOMA MISATO	栄養条件がイイダコ稚ダコの個体間干渉行動に及ぼす影響に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ 濱崎 活幸 ○ ストルスマン カルロス ☆
21	16:50-17:10	2351033 フジワラ サキ 藤原 咲紀 FUJIWARA SAKI	マダコ稚ダコのカニ類に対する捕食行動に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ 濱崎 活幸 ○ ストルスマン カルロス ☆
22	17:10-17:30	2351046 ヤマギ シユメ 山岸 夢 YAMAGISHI YUME	マダコの生活史初期における被食回避能力の発達に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ 濱崎 活幸 ○ 横田 賢史 ☆
23	17:30-17:50	2351048 ヤマダ セン 山田 全 YAMADA ZEN	イイダコの生活史初期における被食回避能力の発達に関する研究	生物資源学	主査	◎ 團 重樹
					副査	○ 濱崎 活幸 ☆ 横田 賢史

令和7年2月17日（月）9:00-18:10

No.	時間	学生氏名	修士論文題目	専攻分野	修士論文審査委員会委員	
24	9:00-9:20	2351029 ハバハルト 馬場 春都 BABA HARUTO	生殖細胞凍結と移植を用いたムサシトミヨ遺伝子資源長期保存に関する基礎的研究	水圏生物科学	主査	◎ 吉崎 悟朗
					副査	○ 矢澤 良輔 ☆ 市田 健介
25	9:20-9:40	2351041 ミトマルキ 三留 明葵 MITOME HARUKI	不妊ニベ宿主を用いたアジアンシーバス精子生産の試み	水圏生物科学	主査	◎ 吉崎 悟朗
					副査	○ 矢澤 良輔 ☆ 森田 哲朗
26	9:40-10:00	2351047 ヤマガチショウタ 山口 渉太 YAMAGUCHI SHOTA	代理親魚技法を用いた濾胞刺激ホルモン受容体遺伝子ノックアウトマサバ不妊魚大量生産法の開発	水圏生物科学	主査	◎ 矢澤 良輔
					副査	○ 吉崎 悟朗 ☆ 森田 哲朗
休憩 10:00～10:10						
27	10:10-10:30	2351028 ハバ シュンタロウ 馬場 俊太郎 BABA SHUNTARO	アユ異型細胞性鰓病に対するワクチン開発	水圏生物科学	主査	◎ 佐野 元彦
					副査	○ 加藤 豪司 ☆ 近藤 秀裕
28	10:30-10:50	2351037 ホッタモモ 堀田 萌々 HOTTA MOMO	ニシキゴイ眠り病原因ウイルス carp edema virus の性状評価手法の検討	水圏生物科学	主査	◎ 佐野 元彦
					副査	○ 加藤 豪司 ☆ 松本 萌
29	10:50-11:10	2351010 グルゲ アイカ タリンディー グルゲ 藍夏 タリンディー GURUGE AIKA THARINDIE	細菌抗原を投与したニジマス腸管における局所粘膜免疫応答に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ 佐野 元彦 ☆ 壁谷 尚樹
30	11:10-11:30	2351024 ナガイリョウ 永井 稜 NAGAI RYO	浸漬ワクチンにより誘導されるニジマスIL-4/13B1産生細胞およびIgM産生細胞の動態	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ 佐野 元彦 ☆ 近藤 秀裕
31	11:30-11:50	2351034 フタガワ タカノブ 二川 堯允 FUTAGAWA TAKANOBU	アユの細菌性冷水病耐性遺伝子にコードされたタンパク質mpCの機能解析	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ 佐野 元彦 ☆ 坂本 崇
32	11:50-12:10	2351036 ホソカワ ミズホ 細川 瑞穂 HOSOKAWA MIZUHO	鰓上皮抗原取込細胞の選択的な抗原取り込みに関するリガンドおよびレセプター分子の探索	水圏生物科学	主査	◎ 加藤 豪司
					副査	○ 佐野 元彦 ☆ 廣野 育生
昼休み 12:10～13:00						
33	13:00-13:20	2351013 サカイユウト 酒井 悠人 SAKAI YUTO	ブリの消化酵素活性ならびに消化吸収能に及ぼす低水温の影響に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穰
					副査	○ 壁谷 尚樹 ☆ 遠藤 雅人
34	13:20-13:40	2351018 シバタ シュン 柴田 峻 SHIBATA SHUN	ナイルティラピア <i>Oreochromis niloticus</i> のタウリン合成酵素の機能解析に関する基礎的研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穰
					副査	○ 壁谷 尚樹 ☆ 二見 邦彦
35	13:40-14:00	2351021 タグチリュウセイ 田口 竜成 TAGUCHI RYUSEI	ニホンウナギにおけるアメリカミズアブミールの利用性ならびに腸内細菌叢への影響に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穰
					副査	○ 壁谷 尚樹 ☆ 寺原 猛

36	14:00-14:20	2351025 ニシリュウタ 西 琉太 NISHI RYUTA	マダイ用低魚粉飼料における微細藻類混合物のタンパク質源としての利用性に関する基礎的研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穰
		副査	○ 壁谷 尚樹 ☆ 遠藤 雅人			
37	14:20-14:40	2351026 ニシカハヤト 西川 速人 NISHIKAWA HAYATO	ニジマス用低魚粉飼料における米濃縮タンパクの利用性に及ぼす加熱加工の影響に関する研究	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穰
		副査	○ 壁谷 尚樹 ☆ 遠藤 雅人			
38	14:40-15:00	2351031 バンレンティエラポン BANLENG TEERAPONG	A basic study on optimization of DHA enhancement technique by purine nucleotide in rainbow trout <i>Oncorhynchus mykiss</i> (プリンヌクレオチドによるニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> のDHA富化技術の最適化に関する基礎的研究)	水圏生物科学	主査	◎ 芳賀 穰
		副査	○ 壁谷 尚樹 ☆ 矢澤 良輔			
39	15:00-15:20	2351015 サトショウゴ 佐藤 翔悟 SATO SHOGO	化合物特異的同位体分析を用いたカイアシ類の多価不飽和脂肪酸生合成系の解析	水圏生物科学	主査	◎ 壁谷 尚樹
		副査	○ 芳賀 穰 ☆ 矢澤 良輔			
40	15:20-15:40	2351039 マツカヨウスケ 松岡 洋佑 MATSUOKA YOSUKE	マダイ <i>Pagrus major</i> に対する魚粉・魚油代替原料としてのゴカイ粉末利用の影響	水圏生物科学	主査	◎ 壁谷 尚樹
		副査	○ 芳賀 穰 ☆ 遠藤 雅人			
休憩 15:40~15:50						
41	15:50-16:10	2351002 イジマケイ 飯島 啓 IJIMA KEI	RNA-seq解析によるセンジュアマノリ <i>Pyropia kitoi</i> の性決定に関連する候補遺伝子の同定	水圏生物科学	主査	◎ 二羽 恭介
		副査	○ 團 重樹 ☆ 堀之内 祐介			
42	16:10-16:30	2351009 カトリリカ 加藤 莉里香 KATO RIRIKA	岩手県大槌湾と北海道日高沖の海底堆積物から分離された新種の嫌気性細菌の諸性状	海洋生物工学	主査	◎ 小林 武志
		副査	○ 寺原 猛 ☆ 片桐 孝之			
43	16:30-16:50	2351014 サトアンジュ 佐藤 杏樹 SATO ANJU	プラスチックを基質とした集積培養により海底堆積物から分離された細菌の諸性状	海洋生物工学	主査	◎ 小林 武志
		副査	○ 寺原 猛 ☆ 片桐 孝之			
44	16:50-17:10	2351016 サトリョウ 佐藤 亮 SATO RYO	館山湾の干潟の堆積物から分離された新種の偏性嫌気性細菌の諸性状	海洋生物工学	主査	◎ 小林 武志
		副査	○ 寺原 猛 ☆ 遠藤 雅人			
45	17:10-17:30	2351022 タケウチカツリ 竹内 勝則 TAKEUCHI KATSUNORI	新種の <i>Brachybacterium</i> 及び <i>Pseudoclavibacter</i> 属細菌の分類学的性状とその機能解析	海洋生物工学	主査	◎ 小林 武志
		副査	○ 寺原 猛 ☆ 遠藤 雅人			
46	17:30-17:50	2351040 マツバラナオヤ 松原 直也 MATSUBARA NAOYA	六価クロム還元放線菌の分離と諸性状	海洋生物工学	主査	◎ 寺原 猛
		副査	○ 小林 武志 ☆ 二見 邦彦			
47	17:50-18:10	2351045 ムラヤママユコ 村山 万由子 MURAYAMA MAYUKO	海底堆積物からのバイオサーファクタント産生細菌の分離と諸性状	海洋生物工学	主査	◎ 寺原 猛
		副査	○ 小林 武志 ☆ 二見 邦彦			

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海洋生命資源科学専攻 令和7年3月修了 修士学位論文発表会プログラム

「主催：東京海洋大学大学院 食機能保全科学専攻」

開催日時：令和7年2月19日（水）、2月20日（木）

開催場所：品川キャンパス 2号館1階 100A教室

2月19日（水） 修士論文発表会 1日目 2号館100A

受理審査委員(敬称略)

	学籍番号	氏名	題目	主指導教員	副指導教員	指導教員以外
9:00-9:20	2152033	谷野 智子	花椒の健康機能性と腸内細菌叢に及ぼす影響	久田 孝	高橋 肇	黒瀬光一
9:20-9:40	2352008	小椋 ひかる	奄美の伝統的発酵米飲料ミキの菌叢と優勢乳酸菌の機能性	久田 孝	高橋 肇	小山智之
9:40-10:00	2352012	古賀 和也	小麦ふすま不溶性画分に反応する腸内常在菌に関する研究	久田 孝	高橋 肇	小山智之
10:00-10:20	2352001	朝田 若菜	Ampdirect®を用いた食品培養液からの食中毒菌検査法	高橋 肇	久田 孝	萩原 知明
10:20-10:40	2352004	市川 裕理	ガス置換包装した鮮魚におけるE型ボツリヌス菌の挙動に関する研究	高橋 肇	久田 孝	萩原 知明
10:40-11:00	2352014	小森 香莉	水産加工食品における <i>Listeria monocytogenes</i> の汚染実態調査および分子疫学的解析	高橋 肇	久田 孝	後藤 直宏
11:00-11:20	2352021	中岡 優斗	カキ養殖海域における菌叢の季節変動と環境データとの関連性	高橋 肇	久田 孝	後藤 直宏
11:20-11:40	2352022	長坂 忠之助	クルマエビアラニン-グリオキシル酸アミノトランスフェラーゼの酵素学的諸性状およびその遺伝子発現に関する研究	小山 寛喜	黒瀬 光一	嶋倉 邦嘉
11:40-12:00	2352025	長谷川 雅	ヒト <i>Homo sapiens</i> におけるD-アスパラギン酸生合成経路の探索	小山 寛喜	黒瀬 光一	嶋倉 邦嘉
昼休み						
13:00-13:20	2352009	紀川 優希	生育環境中の3種の塩がクルマエビ筋肉中の遊離アミノ酸含量に及ぼす影響	黒瀬 光一	小山 寛喜	嶋倉 邦嘉
13:20-13:40	2352007	大東 遥菜	ホスファチジルコリンによるケルセチン吸収促進作用の検討	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	小山 智之
13:40-14:00	2352016	島村 みなみ	脂肪酸構造の違いが肝細胞の脂肪蓄積に及ぼす影響の評価	後藤 直宏	小山 智之	嶋倉 邦嘉
14:00-14:20	2352030	増永 菜月	DHA結合リン脂質位置異性体の生体内取り込みと生合成経路に関する研究	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	小山 智之
14:20-14:40	2352032	武藤 結羽	分岐鎖脂肪酸の合成法の確立とその体内動態に関する研究	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	小山 智之
14:40-15:00	2352033	山村 光	安定同位体を用いたラベル化ドコサヘキサエン酸の生体内挙動の解析	後藤 直宏	嶋倉 邦嘉	小山 智之
15:00-15:20	2352029	保坂 健太	アコヤガイ <i>Pinctada fucata</i> 足糸の微細構造および接着タンパク質に関する研究	石崎 松一郎	小山 智之	福岡 美香
15:20-15:40	2352005	于 佳卉	Protective Effects of Marine Hydroquinone Zonarol against UV-irradiated Damage on Skin (紫外線照射皮膚傷害に対する海藻由来ハイドロキノンzonarolの保護作用)	小山 智之	石崎 松一郎	久田 孝
15:40-16:00	2352019	チョウズ 佳	Antioxidative Properties of Crude Extract Prepared from Brown Algae <i>Sargassum fusiforme</i> (褐藻ヒジキから調製した粗抽出物の抗酸化作用)	小山 智之	石崎 松一郎	後藤 直宏
16:00-16:20	2352003	池田 花菜	マウスおよび魚類における腸内細菌叢を介した環境適応	長阪 玲子	小山 智之	久田 孝
16:20-16:40	2352015	坂本 涼華	植物性飼料が魚類の食嗜好および代謝に与える影響	長阪 玲子	小山 智之	後藤 直宏
16:40-17:00	2352028	福田 彩乃	イカスミの脂質代謝に対する影響の検討と機能性成分の探索	長阪 玲子	小山 智之	後藤 直宏

(2月19日 21名)

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

2月20日(木) 修士論文発表会 2日目 2号館100A

受理審査委員(敬称略)

	学籍番号	氏名	題目	主指導教員	副指導教員	指導教員以外
9:00-9:20	2352006	上間 友隆	氷スラリーを用いた即殺がマアジ魚肉の品質に及ぼす影響	渡辺 学	レドマーク	耿 婕婷
9:20-9:40	2352018	高好 隆之介	凍結方法の違いが貯蔵中の氷結晶粗大化挙動に及ぼす影響	渡辺 学	レドマーク	萩原 知明
9:40-10:00	2352024	那須 翔一	X線CTを用いた氷結晶観察に真空凍結乾燥が及ぼす影響	渡辺 学	レドマーク	福岡 美香
10:00-10:20	2352027	深田 理彩	凍結速度が大豆タンパク質変性に及ぼす影響	渡辺 学	レドマーク	嶋倉 邦嘉
10:20-10:40	2352031	三宅 司	ファン回転数制御による凍結装置の省エネルギー化の検証	渡辺 学	レドマーク	ラベ イヴァン
10:40-11:00	2352017	高橋 愛斗	マイナス温度における乳糖結晶の核生成・核成長解析とその評価	萩原 知明	柴田 真理朗	渡辺 学
11:00-11:20	2352034	芳尾 知佳	米ゲルを用いたアイスクリームの開発に関する研究	萩原 知明	柴田 真理朗	福岡 美香
11:20-11:40	2352036	渡邊 明香里	ヌマエラビルの凍結耐性に関する研究	萩原 知明	柴田 真理朗	渡辺 学
11:40-12:00	2352035	呂 書慧	唐辛子粉末の添加によるイワシミンチの成分に及ぼす影響	大迫 一史	耿 婕婷	小山 寛喜

昼休み

13:00-13:20	2352010	北村 裕太	低温調理(sous-vide)とバーナー加熱を用いたローストビーフの調理解析	ラベ イヴァン	福岡 美香	耿 婕婷
13:20-13:40	2352013	古村 凌太郎	食品のレーザー加熱による局所高温加熱のシミュレーション解析	ラベ イヴァン	福岡 美香	渡辺 学
13:40-14:00	2352023	永田 実紅	調理シミュレーションとディープラーニング(ANN)の融合による加熱制御システムの構築	ラベ イヴァン	福岡 美香	レドマーク
14:00-14:20	2352002	網野 可偉	鶏肉の焼成調理における焼き色変化と香り成分の分析、および最適な焼き加減の評価	福岡 美香	ラベ イヴァン	萩原 知明
14:20-14:40	2352011	木天 梨佳子	野菜乾燥プロセスの高度化に向けた乾燥・復水特性の解析と品質評価	福岡 美香	ラベ イヴァン	萩原 知明
14:40-15:00	2352020	内藤 彩	ユニバーサルデザインフード向け牛肉の通電加熱調理-3Dシミュレーションおよび品質評価-	福岡 美香	ラベ イヴァン	渡辺 学
15:00-15:20	2352026	平松 凜花	調理条件の違いがイワシ煮魚のマイクロ波加熱挙動に与える影響の解析	福岡 美香	ラベ イヴァン	レドマーク

(2月20日 16名)

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する(学外にてその内容を明かすことのないようにすること)。

海洋資源環境学専攻 修士学位論文公開発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋環境科学専攻分野・海洋生物学（生物）

開催日時：令和7年2月14日（金）

開催場所：講義棟・大講義室

	時間	論文題目	学籍番号	氏名	主指導教員	備考
	08:50-09:00	集合・確認・諸注意				
1	09:00-09:20	中礫浜海岸潮間帯の間隙性マクロベントス群集構造とその規定要因	2353064	山下 龍之丞	今 孝悦	
2	09:20-09:40	ソメワケウミクワガタ <i>Elaphognathia discolor</i> の宿主選択メカニズム	2353057	森下 真拓	今 孝悦	
3	09:40-10:00	館山湾砂浜海岸におけるハマスナホリガニ <i>Hippa truncatifrons</i> の分布生態	2353013	小田原 諒	土屋 光太郎	
4	10:00-10:20	雌性コウイカ類における生殖関連器官の形態および組織学的研究	2353055	宮崎 一輝	土屋 光太郎	
5	10:20-10:40	千葉県館山湾におけるムラサキグミモドキ <i>Afrocucumis africana</i> の繁殖生態	2353022	小林 有希代	土屋 光太郎	
	10:40-10:50	休憩				
6	10:50-11:10	沿岸から外洋にかけての環境勾配に応じた <i>Synechococcus</i> 属の色素タイプ組成の変化	2353034	田中 絢音	片野 俊也	
7	11:10-11:30	東京湾における <i>Thalassiosira</i> 属の種組成の季節変化	2353060	安平 光希	片野 俊也	
8	11:30-11:50	<i>Chaetoceros</i> sp. ISG2-2株の増殖速度と不飽和脂肪酸含有量を高める培養光条件の検討	2353031	田浦 大成	片野 俊也	
9	11:50-12:10	生育環境の違いが潮間帯海藻の集団遺伝構造に及ぼす影響の評価	2353061	山口 大貴	神谷 充伸	
10	12:10-12:30	褐藻マコンブ <i>Saccharina japonica</i> 配偶体の成熟誘導に関する研究	2353040	中澤 祐人	神谷 充伸	
	12:30-13:30	休憩				
11	13:30-13:50	海産付着珪藻コメツブケイソウ属 <i>Cocconeis</i> の形態および分子情報に基づく分類学的再検討	2353066	吉儀 彰太郎	鈴木 秀和	

12	13:50-14:10	海藻付着珪藻の群集構造と基質海藻の形態との関係	2353012	岡本 俊哉	鈴木 秀和	
14	14:10-14:30	東京湾京浜運河における付着珪藻の垂直分布とその季節的変化の解明	2253030	倉澤 俊之	鈴木 秀和	
15	14:30-14:50	汽水産付着珪藻の群集構造と基質表面上微環境の関係	2353065	山中 琢翔	鈴木 秀和	
16	14:50-15:10	南大洋に分布する <i>Notolepis</i> 属 (ハダカエソ科) 仔魚の分類	2353046	花澤 松之輔	茂木 正人	
	15:10-15:20	休憩				
17	15:20-15:40	複数鯨種の舌粘膜の肉眼および組織学的観察	2353068	渡邊 陽斗	中村 玄	
18	15:40-16:00	新南極海鯨類科学調査(NEWREP-A)の対象海域(35-165°E)におけるナンキョクオキアミの現存量推定	2353017	川尻 果苗	村瀬 弘人	
19	16:00-16:20	東京湾におけるミズクラゲ個体群の変遷	2053001	穴久保 瞳	石井 晴人	
20	16:20-16:40	東京湾における付着動物の新規加入に基質の違いが与える影響	2353009	大沼 瑞穂	石井 晴人	
21	16:40-17:00	東京湾における付着動物相の季節変動 -相模湾との比較-	2353042	西尾 真凜	石井 晴人	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※一人当たりの持ち時間は20分間、発表15分、質疑応答5分。

※ベルについて:12分経過で1鈴、15分経過で2鈴、20分経過で3鈴。

海洋資源環境学専攻 学位論文修士発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋環境科学専攻分野（海洋生物学分野・化学系）

開催日時：2025年2月19日（水）13:00より

開催方法/場所：品川キャンパス 講義棟1階 大講義室

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
13:00-13:15	ハブクラゲ触手に由来する細胞毒性物質の探索研究	2353010	M2	大橋 由依	永井 宏史	
13:15-13:30	海産ラン藻に由来する低分子有機化合物に関する研究	2353062	M2	山口 華奈	永井 宏史	
13:30-13:45	高度好熱菌 <i>Thermus thermophilus</i> の長鎖ポリアミンの合成機構	2353021	M2	小竹 到矢	石田 真巳	
13:45-14:00	海洋好冷菌 <i>Moritella</i> sp. F1株由来リパーゼの圧力特性に及ぼすバイオサーファクタントの影響	2353039	M2	中里 優希	石田 真巳	
14:00-14:15	デンブンをブレンドした生分解性プラスチックの海中分解性と分解微生物	2353052	M2	松澤 朱里	石田 真巳	
14:15-14:30	海洋低温菌 <i>Pseudoalteromonas</i> sp. LA 由来ラミナラナーゼLA-Lamのラミナラン結合能解析	2353007	M2	上田 理智	岡井 公彦	
14:30-14:45	GH128ファミリーラミナラナーゼ <i>Ja Lam</i> の基質結合様式の解析	2353050	M2	本郷 貴之	岡井 公彦	
14:45-15:00	サンゴ由来抗菌ペプチドの活性評価	2353019	M2	黒木 颯人	岡井 公彦	
15:00-15:15	ポリ塩化ビニル分解菌の探索及びスクリーニング法の構築	2353025	M2	佐藤 佑紀	岡井 公彦	
15:15-15:30	海洋におけるポリ乳酸分解菌のスクリーニングとプラスチック分解性	2353035	M2	田原 和輝	岡井 公彦	

15:30-15:45	メディエータ型バイオセンサを用いた魚類ストレス応答のリアルタイム測定と生体内物質の影響評価に関する研究	2353008	M2	大澤 可依	遠藤 英明	
15:45-16:00	貝類ストレス応答モニタリングのためのグルコースバイオセンサシステムの開発と応用に関する基礎的研究	2353033	M2	瀧澤 敦生	遠藤 英明	
16:00-16:15	食用天然多糖類を用いた環境調和型ソフトウェアの開発に関する基礎的研究	2353044	M2	野村 泰希	呉 海云	
卓越大学院第一段階審査（修了審査）						
16:30-16:45	AI位置座標解析とバイオセンサを用いた魚類のストレス応答解析に関する基礎的研究	2353049	M2	堀口 祐輔	呉 海云	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海洋資源環境学専攻 修士学位論文公开发表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋環境科学専攻分野・海洋学

開催日時：令和7年2月12日（水）

開催方法/場所：2号館100A

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
10:00	フィリピン海プレート上の海山で採取された魚類の安定同位体および脂肪酸組成を用いた栄養生態の解明	2353005	M2	石山 瑛博	山中 寿朗	
10:20	北大西洋グリーンランド沖で採取されたコア試料を用いたIP25による海氷変動の解明	2353054	M2	三石 葵	山中 寿朗	
10:40	西部北太平洋亜熱帯循環における有光層への窒素・リン水平供給の評価	2353048	M2	伏見 理子	橋濱 史典	
11:00	西部北太平洋における窒素固定を駆動する微生物群集組成	2353067	M2	脇 敬太郎	橋濱 史典	
11:20	海面流を考慮した風が黒潮続流フロント域に及ぼす影響に関する研究	2353006	M2	上田 智貴	長井健容	
11:40	黒潮大蛇行期に渦が本州南岸の低次生態系に及ぼす影響に関する研究	2353024	M2	今野 竣介	長井健容	
12:00	Effects of seasonal upwelling-favorable winds and submesoscale flows on nutrients and primary production in eastern boundary upwelling systems (沿岸湧昇に好適な風が吹く時期とサブメソスケール流が東岸境界沿岸湧昇域における栄養塩と一次生産に及ぼす影響)	2353014	M2	OTERO HUAMAN DIEGO	長井健容	
13:20	定置網用魚群探知機の画像を用いた漁獲量クラス分類に関する研究	2353028	M2	杉野 健太	根本 雅生	
13:40	岩手県久慈湾におけるギンザケとマナマコの多栄養段階統合養殖に関する研究	2353020	M2	向後 香澄	根本 雅生	
14:00	相模湾におけるキハダの漁獲傾向に関する研究	2353001	M2	浅香 拓紀	根本 雅生	

14:20	東京湾内湾におけるマアジの生物学的特性に関する研究	2353018	M2	久保 直也	根本 雅生	
14:40	岩手県定置網漁場における漁獲傾向に関する研究	2353053	M2	水上 楓	根本 雅生	
15:00	日本海におけるマイクロプラスチックの濃度分布と挙動	2353029	M2	鈴木 乃々華	荒川久幸	
15:20	東京湾の砂浜におけるマイクロプラスチックの濃度	2353030	M2	ゾン デュン	荒川久幸	
15:40	顕微ラマン光度計を用いた微細マイクロプラスチック濃度の連続計測システムの開発	2353041	M2	永島 滉也	荒川久幸	
16:00	北大西洋亜寒帯循環域における冬期海面水温の変動メカニズム：北極海からの海氷放出とガルフストリームの影響	2353032	M2	高橋 宏知	島田 浩二	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海洋資源環境学専攻 学位論文修士発表会 プログラム

主催：海洋資源環境学専攻 海洋資源エネルギー学専攻分野

開催日時：令和7年2月14日（金）10:20～16:40

開催方法/場所：品川キャンパス 1号館1階14講義室

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
10:20-10:40	陸奥湾・噴火湾へ来遊するカマイルカのコミュニケーション鳴音のタイプに関する研究	2353038	M2	中川 碧	甘糟 和男	
10:40-11:00	音響手法によるサクラエビの水平・鉛直分布及び季節変化の把握	2353051	M2	町田 葵	甘糟 和男	
11:00-11:20	浮体式洋上風力発電のブレードピッチ角度制御に関する研究	2353045	M2	畑 智尋	戸田 勝善	
11:20-11:40	海底地殻変動観測に使用されるWave Gliderの挙動解析	2353056	M2	村井 菜々海	中東 和夫	
11:40-12:00	北部琉球海溝における海底地震観測で記録されたナガスクジラの鳴音分析	2353058	M2	森田 龍太郎	中東 和夫	
13:00-13:20	船舶の投錨を考慮した海底電力ケーブルの最適敷設プラン評価モデルの検討	2353063	M2	山崎 美波	岡安 章夫	
13:20-13:40	小さい貫入力で設置可能でより大きな把駐力を発揮する係留システムの提案と貫入抵抗力・把駐力に関する実験的検討	2353015	M2	大日方 稜	野村 瞬	
13:40-14:00	海底鉱物資源の揚鉱に係るキャリア物質の粘性特性を調べる変水頭フロー試験と固体流体間の挙動を調べる引き上げ試験	2353016	M2	河合 優	野村 瞬	
14:00-14:20	サンプリング兼コーン貫入試験の実用化に向けたサンプラーの改良と試料の品質の検討	2353047	M2	藤方 陸人	谷 和夫	
14:20-14:40	10kW級リニア発電機の試作	2353037	M2	土屋 美月	井田 徹哉	

15:00-15:20	水面反射波を利用した $\rho - \rho$ 測位による水平座標算出の試み	2353011	M2	岡田 陽向	宮本 佳則	
15:20-15:40	東京湾あなご筒漁における混獲生物相の変化に関する研究	2353002	M2	飯島 捷太	内田 圭一	
15:40-16:00	実体顕微鏡画像を活用した機械学習によるマイクロプラスチックの自動分類の試み	2353003	M2	五十嵐 新之介	内田 圭一	
16:00-16:20	黄鉄鉱-黄銅鉱の分離を目的とした海水浮遊選鉱における海洋性鉄酸化細菌の親水化反応機構の解明	2353027	M2	清水 佑馬	淵田 茂司	
16:20-16:40	CCS初期漏洩検知のための最適なモニタリング手法の検討	2353043	M2	野崎 椋麻	下島 公紀	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※一人当たりの持ち時間は20分間、発表15分、質疑応答5分。

※ベルについて:12分経過で1鈴, 15分経過で2鈴, 20分経過で3鈴。

海洋管理政策学専攻 修士学位論文発表会 プログラム

主催：海洋管理政策学専攻

開催日時：令和7年2月17日（月）

開催方法/場所：原則対面/品川キャンパス 講義棟2階22番講義室

令和7年2月17日（月）

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	副査	備考
09:00 - 09:25	海の体験学習活動の可能性と課題 —海洋教育と海業の視点から—	2357004	2	大屋 進之介	松井 隆宏	中原 尚知 原田 幸子	
09:25 - 09:50	サンゴ礁保全活動への観光客の受け入れの意義と課題	2357016	2	三宅 龍太	松井 隆宏	原田 幸子 若松 美保子	
09:50 - 10:15	女性の視点からみた漁業の就労環境の現状と課題	2357006	2	清藤 幸美	松井 隆宏	原田 幸子 中原 尚知	
10:15 - 10:40	複合経営の収益性に関する分析 —瀬戸内海における小規模漁船漁業を対象として—	2357010	2	庄司 宜永	松井 隆宏	中原 尚知 原田 幸子	
10:40 - 11:05	Reversing the tragedy of the commons: A case study of the green sea turtle <i>Chelonia mydas</i> fishery in the Ogasawara Islands (コモングの悲劇を乗り越える—小笠原諸島におけるアオウミガメ漁の事例研究—)	2357005	2	GRACE HANLON CALTABIANO	婁 小波	松井 隆宏 猪又 秀夫	
11:05 - 11:30	魚食消費性向の親と子の関係性に関する研究	2357012	2	竹内 夏紀	婁 小波	中原 尚知 廖 凱	
11:30 - 11:55	洋上風力発電事業における漁業協調のあり方に関する研究	2357013	2	廣田 悠	婁 小波	川辺 みどり 工藤 貴史	
13:00 - 13:25	日本の太平洋クロマグロTAC管理における融通制度に関する研究	2257019	2	孫 鈺欣	川辺 みどり	婁 小波 中原 尚知	
13:25 - 13:50	戦後横須賀市の「水産都市化構想」とその帰趨	2357002	2	江崎 梨香子	高橋 周	佐々木 剛 柿原 泰	
13:50 - 14:15	水産物及び肉類消費で摂取される諸栄養機能性成分と日本人の健康 —主要都市別データに対するサポートベクター回帰の適用—	2357009	2	小林 正季	大石 太郎	婁 小波 中原 尚知	
14:15 - 14:40	人口減少社会における漁協の生活関連事業の展開 —長崎県平戸市生月漁協を事例として—	2357011	2	高木 景将	工藤 貴史	婁 小波 中原 尚知	
14:40 - 15:05	持続可能な遊漁船業に向けた調査研究	2357001	2	荒井 良乃介	千足 耕一	工藤 貴史 中原 尚知	

15:05 - 15:30	メタンハイドレート賦存域における海底下構造の探究 —音響的ブランキング現象からのアプローチ—	2357015	2	松下 隼士	鶴我 佳代子	鈴木 直樹 近藤 逸人	
15:30 - 15:55	東京湾におけるマコガレイの再生産関係と環境要因との関係	2357008	2	小芝 絵莉香	鈴木 直樹	岩田 繁英 北門 利英	
15:55 - 16:20	東京湾におけるスズキ資源量指数の変動要因に関する研究	2357017	2	湯本 達弘	鈴木 直樹	岩田 繁英 北門 利英	
16:20 - 16:45	Assessment of the fish species biodiversity in coastal waters of Tongatapu, Tonga (トンガ王国トンガタブ島沿岸域における魚類の生物多様性の評価)	2357018	2	LEOTA AMANDA FOLAUHOLA KI NUKUMAANU	鈴木 直樹	北門 利英 岩田 繁英	
16:45 - 17:10	水産資源管理へのモデルフリー時系列解析の応用に関する研究	2357014	2	樋渡 倫太郎	北門 利英	鈴木直樹 岩田繁英	博士論文研究基礎力審査 (QE)

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※遠隔で実施する場合は、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。

海洋システム工学専攻 学位論文公开发表会 プログラム

主催：海洋システム工学専攻

開催日時：令和7年2月18日（火）

開催場所：越中島キャンパス 1号館2階122教室

時間	論文題目	学籍番号	氏名	主査	副査
9:00 - 9:30	三次電池の放電容量の電流依存性及びポリマー電解質を用いた三次電池の特性評価	2354013	尾崎 映志	柴田 恭幸	大貫 等 藤田 渉
9:30 - 10:00	プルシャンブルー類似体を用いたリチウムイオン三次電池に関する研究	2354005	石澤 朋哉	柴田 恭幸	大貫 等 藤田 渉
10:15 -10:45	酸化カーボンナノチューブ固定化ろ紙電極による抵抗測定バイオセンサの開発	2354016	川原 健慎	大貫 等	柴田 恭幸 藤田 渉
10:45 - 11:15	電気化学インピーダンス法を用いたメラトニンバイオセンサの開発	2354012	岡泉 飛勇	大貫 等	柴田 恭幸 盛田 元彰
11:15 - 11:45	酸化カーボンナノチューブを用いた電位差バイオセンサの開発	2354018	小柳 彰良	大貫 等	柴田 恭幸 盛田 元彰
13:00 - 13:30	周波数特性の違いを活用したIEEE802.11mc距離測定による移動体向け通信品質指標の研究	2354015	小山 卓光	大島 浩太	清水 悦郎 小池 雅和
13:30 - 14:00	Wi-Fi HaLowの社会実装を目的とした海上利用に関する研究	2354017	菅野 真	大島 浩太	清水 悦郎 小池 雅和
14:00 - 14:30	SDNにおけるDDoS攻撃のリアルタイム二段階検知システムの研究	2354020	佐藤 純平	大島 浩太	小池 雅和 田原 淳一郎
14:30 - 15:00	GANによる未学習物体の出現に対応可能な海上浮遊物検知手法の研究	2354026	羽深 広夢	大島 浩太	田原 淳一郎 清水 悦郎
15:15 - 15:45	AprilTagを用いた空気圧式ソフトアクチュエータの角度制御システムの開発	2354021	佐藤 佑	田原 淳一郎	小池 雅和 大島 浩太

15:45 - 16:15	ASV制御システムの開発と経路追従制御に関する研究	2354029	吉村 洸貴	田原 淳一郎	清水 悦郎 小池 雅和
16:30 - 17:00	R454Cの扁平多孔管内における流動特性および蒸発熱伝達	2354024	野上 大河	地下 大輔	井上 順広 波津久 達也
17:00 - 17:30	積層型マイクロチャンネル熱交換器を用いた大深度地中熱ヒートポンプシステムの性能評価	2354025	野口 凌吾	井上 順広	地下 大輔 藤野 俊和

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海洋システム工学専攻 学位論文公開発表会 プログラム

主催：海洋システム工学専攻

開催日時：令和7年2月18日（火）

開催場所：越中島キャンパス 1号館2階123教室

時間	論文題目	学籍番号	氏名	主査	副査
9:00 - 9:30	GNSSアンカーを有するセシウム原子時計群に対する最適制御の検討	2354002	浅沼 敬行	小池 雅和	田原 淳一郎 大島 浩太
9:30 - 10:00	波浪外乱を受ける船舶の省エネルギー化に向けた船体運動数値シミュレーションモデルの開発およびエンジン制御方法の検討	2354003	阿部 頌	小池 雅和	田原 淳一郎 清水 悦郎
10:15 - 10:45	大容量化を目的とした複数受電ワイヤレス給電におけるコイル形状と電力伝送特性の検討	2354011	大川 佳一	米田 昇平	木船 弘康 清水 悦郎
10:45 - 11:15	発熱分布の切り替え能力を有する平板加熱向けマルチコイル誘導加熱システムの検討	2354007	稲見 駿汰	米田 昇平	木船 弘康 井原 智則
11:30 - 12:00	一次元モデルを用いたエジェクタ冷凍サイクルの性能予測に関する研究	2354019	笹原 滉大	塚本 達郎	小嶋 満夫 國吉 直
13:00 - 13:30	流体-粒子連成計算による水中ロープ挙動の解析	2354006	伊藤 良	田中 健太郎	吉岡 諭 國吉 直
13:30 - 14:00	サテライト液滴の表面張力振動解析および物性測定	2354027	本田 龍一	田中 健太郎	波津久 達也 井原 智則
14:00 - 14:30	超微小液滴による濡れ性の評価及び表面自由エネルギーの推定	2254020	加藤 奨梧	田中 健太郎	藤野 俊和 地下 大輔
14:45 - 15:15	建設用クレーンに用いられる樹脂しゅう動材と各種皮膜を有する高張力鋼材のトライボロジー特性	2354010	上原 渉	地引 達弘	藤野 俊和 田中 健太郎
15:15 - 15:45	フレッチングにおける直接観察を用いた軸受鋼の摩耗プロセスの解析と臨界振幅の評価	2354014	小野 拓海	地引 達弘	藤野 俊和 田中 健太郎

15:45 - 16:15	腐食環境下におけるアルミナキャリア粒子を用いた各種摩擦改質層を有するCr-Mo鋼の耐食性とフレッチング摩擦特性	2354028	丸山 祐亮	藤野 俊和	地引 達弘 田中 健太郎
16:30 - 17:00	熔融亜鉛めっき鋼板の疲労特性に及ぼす機能性キャビテーション処理の影響	2354008	井上 寛都	盛田 元彰	元田 慎一 藤野 俊和
17:00 - 17:30	材料表面上に形成されるスケール付着量の定量的評価試験法の構築	2354001	相澤 春太郎	盛田 元彰	元田 慎一 波津久 達也

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

海運ロジスティクス専攻 学位論文公開発表会 プログラム

主催：海運ロジスティクス専攻

開催日時：令和7年2月10日（月）、令和7年2月14日（金）

開催方法/場所：対面式 越中島キャンパス1号館1階 115教室

令和7年2月10日（月）115教室

時間	論文題目	学籍番号	年次	氏名	主指導教員	備考
9:00～9:30	三胴船の胴間距離が及ぼす抵抗への影響に関する研究	2355004	2	ウジハヤシ ショウゴ 氏林 聖護	南 清和	
9:30～10:00	浮上式津波防波壁の提案と防災性能の検討に関する研究	2255001	2	イガラシ ムカ 五十嵐 優佳	増田 光弘	
10:00～10:30	実海域における新型錨OM-1の把駐性能の検証と錨鎖挙動の推定に関する研究	2355016	2	ニワ ショウタ 丹羽 紹太	増田 光弘	
10:30～11:00	MPS法とベイズ最適化を組み合わせた振動水柱型波力発電装置の空気室形状の最適化に関する研究	2355012	2	オトコロ シュンペイ 田所 俊平	増田 光弘	
11:00～11:30	船舶に対するGNSSスプーフィングの脅威の検討及び時刻に着目したGNSSスプーフィングの検知について	2355024	2	ヨコタ ケンタロウ 横田 健太郎	久保 信明	
11:30～12:00	深海底メタンハイドレート気泡の挙動を可視化する遠隔実験システムの開発	2355005	2	オダ ジュンペイ 小田 純平	近藤 逸人	遠隔
13:00～13:30	組み合わせ最適化問題を用いた航海士の避航操船の定量化に関する研究	2355001	2	アラニ シラセ 荒西 智瀬	岡崎 忠胤	
13:30～14:00	風力下におけるタグボートを用いた自動着棧システムの研究	2355007	2	カモ コウイチロウ 加茂 航一朗	岡崎 忠胤	

14:00～14:30	広域物流施設の利用を考慮した都市圏内外貨物シミュレーションモデルの開発	2355013	2	タカ シヤ 田中 慎也	坂井 孝典	
14:30～15:00	エージェントベース都市貨物シミュレーションにおけるツアー生成のためのデータ駆動型ヒューリスティックの開発	2355022	2	モトジマ リキ 本島 利希	坂井 孝典	
15:00～15:30	アレクサンドリアの大灯台の灯火	2355002	2	タキサリ コモト 滝澤 小桃	岩淵 聡文	
15:30～16:00	黒潮続流および黒潮親潮混合水域における冬季海面熱フラックス変動の解明	2355018	2	フジシマ ハルト 藤島 遼人	小橋 史明	
16:00～16:30	大気海洋結合モデルCFESにおける北西太平洋の熱帯低気圧の特徴について	2355023	2	ヨコタ ケン 横田 健	岩坂 直人	
16:30～17:00	精神運動覚醒度検査を活用した船員の疲労調査方法に関する研究	2255024	2	タニシバ セイ 谷水 聖奈	竹本 孝弘	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。
 ※遠隔で実施する場合は、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。接続先は主指導教員にお問い合わせください。

海運ロジスティクス専攻 学位論文公開発表会 プログラム

主催：海運ロジスティクス専攻

開催日時：令和7年2月10日（月）、令和7年2月14日（金）

開催方法/場所：対面式 越中島キャンパス1号館1階 115教室

令和7年2月14日（金）115教室

10:00～10:30	ローレンツ方程式に対するLSTMによる転移学習についての力学系視点の考察	2355021	2	ミツシ 三田 剛	関口 良行	
10:30～11:00	Riemannian optimization for the Brascamp-Lieb constants computation(ブラスキャンプ・リープ定数計算に対するリーマン最適化法)	2255019	2	カイケンカ 解 建花	関口 良行	
11:00～11:30	機械学習及び特徴量選択による気象予測の後処理モデルの精度向上	2355003	2	イセカズマ 岩瀬 一馬	竹縄 知之	
11:30～12:00	Unreal Engineを使用したトラック自動駐車強化学習	2355020	2	マサキエタ 正木 瑛太	竹縄 知之	
13:00～13:30	三次元重心検知理論に基づく海難事故分析	2355006	2	オノデラモレイ 小野寺 望鈴	渡邊 豊	遠隔
13:30～14:00	時空間ネットワークを用いた直線型配送計画問題に対する最適化モデル	2255014	2	リケン 李 源	橋本 英樹	
14:00～14:30	Optimization methods for vehicle routing problems with time windows using PyVRP (PyVRPによる時間枠付き配送計画問題の最適化手法)	2355010	2	スウシュンコウ 鄒 俊洪	久保 幹雄	
14:30～15:00	深層学習の最適化手法を用いた容量制約付きp-メディアン問題の新解法の提案	2355015	2	テラオカシュント 寺岡 舜斗	久保 幹雄	

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※遠隔で実施する場合は、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。接続先は主指導教員にお問い合わせください。

食品流通安全管理専攻 2024年度3月期 学位論文公开发表会 プログラム

主催：食品流通安全管理専攻

開催日時：令和7年2月8日（土）

開催方法/場所：オンライン方式（ZOOM利用）

専攻外からの参加者は、「2月6日までに 専攻主任 濱田奈保子教授 (hsnaoko@kaioydai.ac.jp) まで連絡すること」、待機室制のため、「ZOOM画面には所属と氏名を明記した上で入室してください」

時間	学籍番号 学生氏名	論文題目	専攻分野	論文審査委員会委員	
10:00～10:30	2356007 タカ ヒカル 田中 光 TANAKA HIKARU	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> 001を用いた高塩濃度下におけるReactive Red 120の脱色およびミジンコ急性遊泳阻害試験による脱色処理前後の毒性評価	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ 小林 征洋 ☆ 二見 邦彦
10:35～11:05	2356002 オチ メグミ 越智 萌 OCHI MEGUMI	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> No. 6001を用いた発酵アカモクの血圧上昇抑制作用に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ 永井 宏史 ☆ 井上 泉
11:10～11:40	2356004 キシ シュンスケ 岸 春介 KISHI SHUNSUKE	乳酸菌 <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> 002を用いた発酵によるワカメ茎のγ-アミノ酪酸（GABA）産生と血圧上昇抑制作用に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ 井上 泉 ☆ 永井 宏史
11:45～12:15	2356009 マニタ カホル 間仁田 薫 MANITA KAHORU	麹菌 <i>Aspergillus oryzae</i> No. 6001を用いた発酵によるワカメ茎の高付加価値化	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ 小林 征洋 ☆ 井上 泉
12:15～13:00	昼休み				
13:00～13:30	2356010 ヨシムラ ミユ 吉村 未羽 YOSHIMURA MYU	魚体サイズが異なるニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i> の鮮度予測に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ 兵藤 哲朗 ☆ 小林 征洋
13:35～14:05	2356006 サイトリオ 齋藤 理緒 SAITO RIO	浸透圧脱水に伴う水分移動がメバチ <i>Thunnus obesus</i> の品質に与える影響	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ 福岡 美香 ☆ 小林 征洋 ★ 岡崎 恵美子
14:10～14:40	2356003 カジ ユカ 鍛冶 佑可子 KAJI YUKAKO	蛍光指紋による冷凍マグロ中のATP非破壊計測手法の開発	食品流通安全管理学	主査	◎ 柴田 真理朗
				副査	○ 萩原 知明 ☆ 小林 征洋
14:45～15:15	2356005 コグマ ユタ 小熊 悠汰 KOGUMA YUTA	グルコース-リシンモデル系における通電加熱のメイラード反応抑制に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 濱田 奈保子
				副査	○ 小林 征洋 ☆ 柴田 真理朗

15:20~15:50	2356011 レイギョクサン LI YUSHAN	食物アレルギー患者とその家族がフードデリバリーアプリを利用するには 一質的調査が導いた人的・時間的・地理的要因	食品流通安全管理学	主査	◎ 小川 美香子
				副査	○ 小林 征洋 ☆ 井上 泉
15:50~16:00	休憩				
16:00~16:30	2356001 イキエミ 岩城 絵未里 IWAKI EMIRI	原材料調達における環境負荷への影響と複数購買を可能とする調達先の決定に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 黒川 久幸
				副査	○ 小川 美香子 ☆ 中川 雄二
16:30~17:00	2356008 ハラヒトシ 原 仁 HARA HITOSHI	貨物地域流動調査を用いたトラック輸送の効率化及びCO ₂ 排出量の削減に関する研究	食品流通安全管理学	主査	◎ 黒川 久幸
				副査	○ 小川 美香子 ☆ 中川 雄二

※本発表内容に関しては、参加者は秘密を保持する義務を有する（学外にてその内容を明かすことのないようにすること）。

※遠隔で実施する場合は、出席確認のため参加者1名につき一つの接続とする。